

Green

No. 11
SPRING 2001

グリーンスケッチ

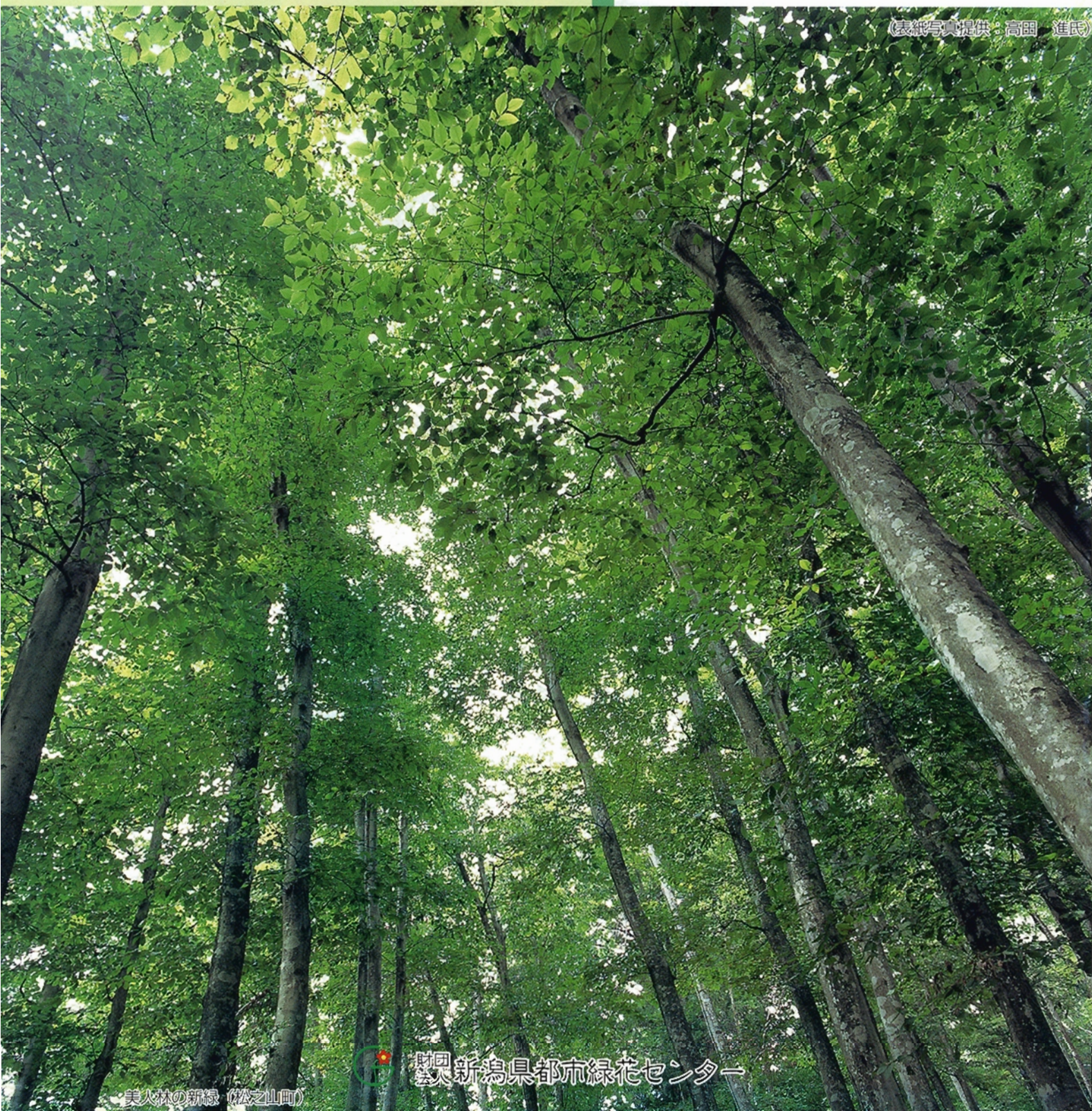
Sketch

特集

にいがた「緑」の百年物語 本格的スタート!

- にいがた春の散歩道
- 植物に親しむ
- 花と緑のイベント情報
- 花と緑のお悩み相談室
- 緑花センター掲示板
- 助成制度のご案内
- 緑の愛護団体紹介

(表紙写真提供: 高岡 進氏)



にいがた「緑」の百年物語

木を植える県民運動

本格的スタート!

これまで祖先が築きあげてきた自然・環境を、この20世紀という百年の間に私たちは傷つけ、失ってしまいました。今の大量消費型の生活を続けていけばそれは進んでいくばかりです。これから始まる21世紀はこの失った自然を回復し次の世代へ引き継いでいく時代。そんな思いで始まった、にいがた「緑」の百年物語。「木を植える県民運動」。この運動を支援する組織として設立された社にいがた「緑」の百年物語緑化推進委員会の小林正吾さんにお話を伺いました。



小林 正吾さん
新潟大学農学部の教授を退官後、にいがた丘陵森林文化アドバイザーに就任。社にいがた「緑」の百年物語緑化推進委員会常任理事、にいがた森林の仲間会の会長など、様々な場で活躍される。

*社にいがた「緑」の百年物語緑化推進委員会は平成10年に発足した呼びかけ人会が、県民にこの運動を呼びかけ、各地の緑化グループと連携を図り、平成12年12月社団法人として設立されました。

にいがた「緑」の百年物語について教えてください

これは木を植えるだけの運動ではなく、物語性をもつ運動なのです。そのためには誰が、どこに、どんな緑をつくるか、そういうシナリオが必要になってきます。新潟県のように南北に長く、山地、平野、農地など様々な環境をもつ全ての地域で運動が行われるわけです。それには各地域でここではどのようなものが必要か、地域の人々自らが考え、提案し、実行していくという運動形態が望まれます。

この運動は県民の手による緑の創造、心豊かな文化の創造、心豊かな子供たちの育成という基本プランにそった展開を目指しています。木を植える行為を通して人の和をつくり、人と人とが触れ合う中で子供達を育てようという世づくりでもあります。本来の意味での豊かな世の中をつくり、22世紀に引き継いでいこうという意味が込められています。

具体的にはどのような「緑」があるのですか

大きく3つに区分できると思います。本来の自然の姿をもつ「奥地森林帯」(原生林)、人の手が加えられた半自然植生の「里山地帯」(スギ林や雑木林等)、完全に人間がつくった「居住地帯」(公園、水辺の緑、花壇等)という様々な形の緑があります。当然それぞれの緑づくりは異なるわけです。「奥地の森林帯」は人手を加えず自然生態系を残すことが緑づくりの基本です。「里山地帯」は手を加える必要のある所は手を入れる。例えば間伐なんかそうです。「居住地帯」は人間が生活する空間を快適にする緑をつくる。このように対象によって違うわけです。ですから「木を植える」とは、広い意味で木を育てることも含んでいます。

では活動の場も様々なところでしょうか

活動の舞台には私有林もあれば国有林もあります。緑花センターさんが活動されている都市部の居住地域もあります。そういう全く違う場所、目的をもつ地域に対して、それぞれに応じ

た緑化活動が必要かと思えます。要は県民という立場で、自分が関わっていただけるフィールドで参画できればよいのです。家の前にある雑草を抜くことも運動の一つですから。

ただ「緑」の百年物語を自分達の手で進めるという本質を忘れないでほしいと思えます。その意識をもつ事が大切な事でもあります。

社にいがた「緑」の百年物語緑化推進委員会の役割とは何ですか

木を植える時、何を植えればどこに植えれば？またその費用は？そういった様々な悩みや苦労をかかえる人達への支援が、この緑化推進委員会の大きな役割です。緑の募金、普及啓発、地域推進、組織拡充の4つに部会を設け活動を行います。今まで単発的に各地で行われていたボランティア活動を、にいがた「緑」の百年物語緑化推進委員会がネットワークを作り、点から線、線から面へ広げていく。そしてその点を拠点に、県民の動きが広がればと思っています。各グループが発想されて、各市町村で対話し進めていく中で、活動を行う用地・技術のバックアップ、財政的な支援、PR、情報の提供等でお手伝いしているという事です。

県民主体の運動といっていますか

県内にはすでに緑化活動を展開されているボランティア団体が200以上あります。放置されてしまっている杉林を手入れするようなグループ、またその間伐材を使って物を作ろうというグループなどの動きも広がっています。まちでも多くの市民グループが花壇づくりなど

の緑花活動を進めておられます。ですから実際の緑の百年物語は既に進行しているわけです。

にいがた「緑」の百年物語緑化推進委員会という組織があつて県民運動が始まったのではなく、ボランティア団体等県民の活動があつたからこそ設立された組織なのです。主人公は県民です。その主人公の皆さんの自主的な活動をお手伝いするという事がこの組織の役割。上から押し付けたのではなく、すでにあつた活動を皆さんが動きやすいよう支援し、その輪を広めたと私達は考えています。

この運動に参加したい場合はどうしたらよいでしょうか

4月29日の県で行う「新潟21世紀記念事業」と併せてイベントを行います。それに向けてラジオ、新聞、テレビなどでPRを行います。また、にいがた「緑」の百年物語緑化推進委員会の一員として支援をしていただく会員の募集も行います。新聞の折込にも連絡先を掲載します。この会の具体的な活動内容については、県民の皆さんのご意見、ご提案を頂きながら練り上げてゆきたいと思っておりますので宜しくお願致します。

会員でなくてもこの活動には参加できます。現在16の地域運動推進協議会が、合同庁舎の財務事務所を窓口を設置され、相談・受付けを行っていますので気軽に顔をだしていただけだと思います。

.....
百年後、私達の子孫が私達の遺した豊かな自然の中で暮らしてほしいものですね。

にいがた「緑」の百年物語と緑花センター

都市緑花センターも昨年設立10周年を迎え、地球温暖化対策に「緑」の役割が見直されるなど、緑花センターを取巻く環境も大きく変化しています。

新たな世紀の幕開けに今後の事業方向の骨格について検討し、基本スタンスの1つに、にいがた「緑」の百年物語運動の推進を位置付けたところです。

この事を踏まえ、助成制度の抜本的な見直しを行い、ボランティア団体や学校行事でのパートナーシップ型による都市部の植樹等を行うことと都市緑花を推進し、にいがた「緑」の百年物語の一翼を担って行きたいと考えています。

また昨年から県内各地域で開催されている、地域運動推進協議会の意見交換会等に講師を派遣するなど、にいがた「緑」の百年物語運動に関わっています。

今年の2月にも新発田市で情報交換会が行われました。既に、「緑」の百年物語を念頭に活動を展開している団体もあり、それぞれ積極的な活動内容が報告されました。

今後、にいがた「緑」の百年物語のより具体的な進め方等が明らかになって行くと思いますが、当センターとしても、にいがた「緑」の百年物語の推進を支援して行きたいと考えております。

(助成制度については9ページに掲載)



新発田市での情報交換会

暮らしに緑を・・・ハーブの世界

ハーブは古くからヨーロッパで薬草として利用され、今や私達の生活の色々な場面で活躍し、大人気の植物です。花を觀賞することは勿論、料理の香り付けやハーブティーなど食用として、また染色やポプリ、石鹸や入浴剤など用途はバラエティーに富んでいます。



ハーブとスパイスの違いは？

生の葉の部分を利用するものを「ハーブ」、花や実、樹皮や莖、根などの部分を乾燥させ香りや辛味をより強くしたものを「スパイス」と区別して呼ぶことが多く、双方とも料理には欠かせない物となっています。

ハーブを育てよう

ここではハーブの中で最も親しまれているラベンダーの栽培について紹介します。

○庭植えの場合

ラベンダーは乾燥を好むので、水はけ、日当たり、風通しの良いところで栽培しましょう。

○鉢植えの場合

一般には腐葉土5、赤玉土5に少量の苦土石灰を混ぜ、鉢底にはゴロ土を入れて植え込みます。元来、野性的なラベンダーは鉢植えを好みません。できるだけ大きめの鉢で育てましょう。

○日常の管理

水やりは控えさず少量にし、冬は更に控えるにします。肥料は香先と花を刈り取った後に成長に応じて株元に化成肥料を少なめに与えます。アブラムシ、ハダニ等の病害虫がつくことがありますのでご注意ください。開花期の刈り取りは翌年の為にも大切な整枝の手入れです。刈高に注意しましょう。畑地への植え込みは、60〜70cmの間隔が必要です。花壇の縁に1列に植えるのも良いでしょう。

○殖やし方

4〜5月頃部分的に成育の良い枝を先から5〜10cm程切り下枝を取り、よく水あけをして清潔な土にさします。日陰で管理すること1〜2ヶ月で発根してきます。

ハーブを楽しもう

○ハーブティー

レモングラスやミントなどの葉を耐熱ガラスのポットに入れ熱湯を注ぎます。お好みで砂糖や蜂蜜を加えてみてみましょう。また色々なハーブをブレンドしてオリジナルのハーブティーを作ってみては。



○ハーブのポプリ

花やハーブを乾燥させ、好みの香りのポプリを作ってみよう。小さな袋にポプリを詰めてクローゼットや引き出しに入れて、香りを楽しめます。リースやリボンなどをつけてかわいらしく。香水よりも自然な香りがたのしめます。

ポプリの材料

メインとなるハーブ…ミント類
ラベンダー、レモンバーベナ、ローズマリーなど
サブとなるハーブ…オレンジ、カモミール、キャラウェイ、ジャスミン、など
サブとなるスパイス…カルダモン、クローブ、シナモン、ナツメグ、バニラなど



○オレンジポマンダー

台所の虫除けや、健康のお守りとして使われるオレンジポマンダー。レモンやライム、ゆずなどの柑橘類で簡単に作ることが出来ます。



掲載協力者 花と緑のアドバイザー 恩田吉和さん